

なつかしんべつ



春別春寿会は「子供との交流会」を10月24日(土)に菊水会館で行いました。

子供たちと一緒にパン釣り競争や中標津や標津で活動する「ムーンアロハの会」をお呼びしフラダンスや歌、最後に子供たちはフラダンスの衣装を着させてもらったり笑顔が溢れ、短い秋のひとつときを楽しみました。



11月号

2015 Vol. 454

農協法公布 記念日にあたって

北海道農業協同組合中央会会長 飛田 稔 章



昭和22年11月19日に農業協同組合法(農協法)が制定され、今年で68年目を迎えました。

戦後の食料不足等の混乱期に、農業者の協同組織の発達を通じ、農業生産力の増進と農業者の経済的・社会的地位の向上をはかり、国民経済の発展に寄与することを目的として、農協法が制定され農協が設立しました。

農協は「農民による農民のため組織」として、協同組合原則に掲げる「自主・自立」「民主的運営」の基本に立ち、相互扶助の精神のもと、幾多の困難な状況乗り越え、組合員の経営と生活の安定並びにより良い地域社会の実現をめざし、各種事業を展開しながら今日に至っています。

言うまでもなく、農協法は農協の組織・事業を運営する基本法として極めて重要な役割を担っておりますが、農協法公布記念日を契機に、改めて農協の原点に立ち返り、その意義と役割について共通認識を深めることが重要であります。

このような中、過般、農協改革法案の成立、T P P交渉の大筋合意という我が国の農業・J Aに係る極めて大きな情勢変化があったところであります。

農協改革については、法改正と農業所得の向上の関係などに関して、いまだに納得のいく説明なり理解が進まない一方で、准組合員制度のあり方や監査の仕組みなどの重要案件について今後の検討課題となっております。改めて地域農業の振興や農協運営への影響がないよう、政府に対する働きか

けを含め、関連する取組みを進めていく必要があります。

一方、T P P交渉については、交渉参加12か国の閣僚合意を経て、去る10月5日による大筋合意がなされた経過にあります。

交渉に関する情報開示が極めて不十分であり、国民的議論もままに大筋合意という結果に至ったことに対して強い憤りを覚えるとともに、生産現場においては、今回の合意内容と国会決議との整合性をはじめ、これまでの交渉の取り進め方には到底納得がいかない状況にあります。

農業のみならず他の分野の合意内容についても全容が不明瞭であり、交渉を担ってきた政府・与党においては、国民との約束ともいえる国会決議と今回の合意内容との整合性や各分野の合意内容の全貌について説明責任を果たす必要があります。

我々J Aグループ北海道としては、これらの状況を見極めつつ、今後の取組みを再構築した中で、農業経営をはじめ地域農業・地域社会の持続的発展に支障がないよう、関係方面への働きかけなど最大限の努力を傾注してまいりたい所存です。

T P P交渉だけに限ったことではありませんが、国民との信頼関係がなければ国を形づくることは不可能であります。

とりわけ地方創生が叫ばれている中にあつては、各地域の声に十分に耳を傾け、真に国民に寄り添った対応が国には求められているのではないのでしょうか。

かかる状況のもと、先般、3年に一度のJ A北海道大会が開催され、「北海道55

〇万人と共に創る「力強い農業」と「豊かな魅力ある農村」に関する決議がなされたところであります。

農業は、関係者それぞれの自助努力とともに、一般消費者・地域住民の理解と協力のもとに成り立つ産業であり、今回の決議事項にはその思いが込められております。

組合員・J A・連合会・中央会が各々の役割を再認識するとともに、J Aグループ北海道がより一体となり総合力を十分発揮した中で、大会決議事項を着実に実践していくことが大会開催の真の目的であります。

前述のとおり、農業・J Aを取り巻く環境は激動しており、生産現場では将来に対する不安が渦巻いております。

しかしながら、我々農業者・J Aグループは、農業という生命産業に携わっているという責任感と自負心のもと、この情勢変化の中から今後に向けた取組みを見い出していくとともに、農業・J Aに対する幅広い理解と共感を得る不断の努力を行いながら、長年にわたり先人が築き上げた本道農業並びに農業協同組合の基盤をさらに発展させ、後世にしっかりと継承するよう共に頑張ろうではありませんか。

今後とも、本道農業並びにJ Aがますます発展することを心より祈念し、農協法公布記念日にあたってのご挨拶といたします。

秋のAコープ 収穫祭

冬物用品勢揃い、お買得品を満載



500円でみかん詰め放題に買い物客が殺到しました



漬物の野菜を求める人でにぎわいました

「いらつしやいませー！ いらつしやいませー!!」と威勢の良いかけ声で始まった「Aコープ収穫祭」が、10月28日(水)Aコープ前広場特設会場にて開催されました。

当日は天候にも恵まれ、多くの人出で賑わいました。会場には野菜や果物、器具など、また、これからのシーズンに必需品のスタッドレスタイヤや冬物用品が勢揃い。お買得品が満載で提供された「秋の収穫祭」。

中でもひとときわ人気を集めたのが「みかん」の詰め放題！バケツに入るだけ詰めて500円とあって、次から次と買い求める人が殺到しました。

また、青年部では中春別産ジャージー牛の試食販売が行われ、肉の香ばしい匂いが食欲をそそりました。女性部では牛乳たっぷりのシチューと温かいコーヒー牛乳の無料提供をし、「シチューは温まるね、かぼちやも入っているんだね！」と満足な笑顔。

フリーマーケットでは手造りのパウンドケーキやクッキー、ケッチャップ、漬物と様々な品を販売し「今度は何を売っているの？」と尋ねるなど、皆さん秋の収穫祭を存分に満喫しました。

牛乳たっぷりのシチューに食欲の秋を満喫



女性部が作る牛乳たっぷりのシチューは大好評でした

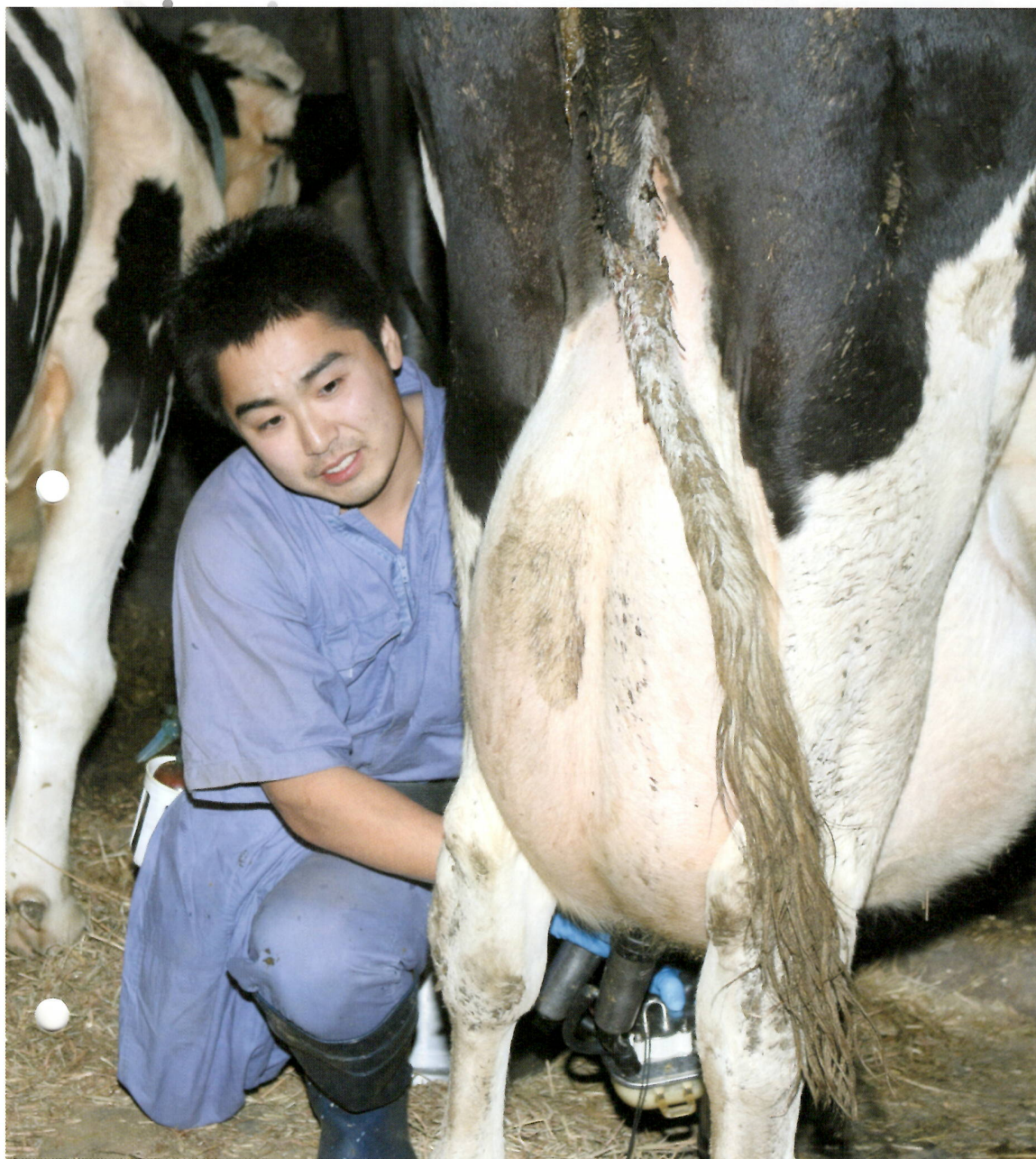


青年部も焼肉販売で一役買いました



フリーマーケットも評判でした





管理の行き届く範囲で規模拡大、 家族経営の限界へ挑戦！

中春別地区・平井房夫牧場後継者 **平井 優一**さん(26歳)

今月の中春別地区の平井房夫牧場の後継者・平井優一さんに取材を受けていただきました。

平井牧場の始まりと歴史

曾祖父・竹二さんが昭和4年に徳島県から入植し、当時は機械や馬もなく、手で木切る林業とリネンとして繊維を使い、種子は成熟すると食用アマニ油となり化学繊維が出回る以前には道内で栽培されていた、亜麻(あま)を作付していました。

しばらくは、林業と畑作を経営、昭和26年に祖母の季義さんとヨシ子さんが現在の平井牧場の土地に入植、畑作と大工や林業の出稼ぎを掛け持ちながら、ホルスタイン牛2頭、馬2頭から酪農経営の第一歩を歩みはじめました。

昭和28年12月に父・房夫さんが誕生し地元別海高校酪農科を卒業後に実家に就農しました。

昭和58年8月に父・房夫さんが母・忍さんと結婚。昭和60年12月に優一くんが誕生しました。



牛の餌やりと汗を流す優一さん

両親に幼少期の事を尋ねると、小さい頃はよく寝て、好き嫌いもせずになんでも食べて手がかららずに、健康にすくすく育ちました。

小学校に上がる頃は、何より機械に興味を持ち、父・房夫さんの運転するトラクターと一緒に乗っては機械が動く様子や、房夫さんの機械の操作をじつと見て覚えていたそうで「生き物や搾乳の作業よりも機械が大好きな子」でした。その頃から、男兄弟は1人だった事もあり酪農業を継ぐという事が自然な事だと思っていました。



愛犬のマロンと一緒にくつろぎの時間

別海高校では酪農科に進学し、家の作業を手伝いながら学校に通い、家と高校の二つが学び舎となる生活をしていました。高校卒業と共に実家に就農、同時に別海高校専攻科にも通い始めて1年が過ぎた19歳の10月24日、けん引式ハーベスタの整備中に不慮の事故に遭い、右足膝の上を失いました。

入院生活となり、家族も優一さんの将来を考え母・忍さんは、また仕事をすれば、事故に遭ってしまいかもしれないという不安とケガをした後にこのままの規模で酪農業を続けるのは厳しいだろうと、規模の縮小や酪農から育成農家への転向も視野に入れていましたが、父・房夫さんは「まず本人の思いを聞いてから決めよう」という事となりました。事故

後1カ月が経ち一般病棟へ移り、自ら車いすに乗れるようになった頃、両親から今後の経営の事について話をされた時「自分の責任で負ったケガだから、家族に迷惑は掛けられない。酪農はそのまま続けたい」と伝えました。優一さんはケガの直後から足を失ったせいで酪農を辞めるという選択肢はなかったと、腐ることなく前向きに大変なりハビリ生活に取り組み、日常生活がこなせるようになった半年後に退院しました。

退院後は、松葉づえをつきながら家で徐々にできる作業に取りかかり、初めはしゃがむ・立つを繰り返す搾乳作業はできなかったものの、給餌作業から始め、時間をかけながらゆつくりと慣れていき、やがて義足を装着した1カ月後にはほぼ今と変わらなく作業をこなせるようになりました。事故後半年後には、以前と変わらない生活を送っていました。

平成25年に大阪でOLをしていた裕子さんと出会い、翌年の平成26年2月に結婚



修理と点検をかね好きな機械いじりをする

されました。

裕子さんへの第一印象は、しっかりしていてサポートしてくれそうだと感じ、結婚してからも印象は変わらず、いろいろと相談すると自分と違った目線的確なアドバイスをくれるそうです。

酪農の面白さや大変さ

食品を生産する責任、生き物を扱う上で常に目を配って管理しなければいけない大変さを感じるもの、手を掛けた分の成果が目に見える。経営や青年部活動を通して色々な業種の人々との交流を通じ、考えを聞くことができるのは楽しいです」と話してくれました。

休日の過ごし方

夫婦で過ごす時間を大切に

にし、奥様と買い物や、釧路や弟子屈へドライブがてら美味しいと評判を聞いたレストランやお蕎麦屋さんなどを巡っていると教えてくれました。

これからの目標については

将来の目標を優一さんに尋ねると「目を配れる範囲に規模の拡大、搾乳牛150頭と搾乳ロボットを導入。家族経営の限界へ挑戦する」と将来の目標を教えてくださいました。

今回、快く取材を受けていただいた平井優一さん、牧場の歴史や大変だったケガをした当時の事も明るく話を聞かせていただいたご両親の房夫さん・忍さん、ありがとうございました。

<平井優一プロフィール>

1985年12月6日平井牧場の1男2女の長男として生まれました。
別海高校を卒業後に就農し平成26年2月に大阪市出身の裕子さんと結婚、現在に至る。
趣味は、車のドレスアップと夫婦で過ごす時間を楽しむ事。

町内のふん尿処理施設

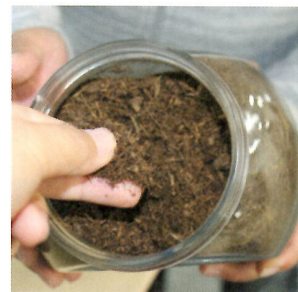
青年部地区内視察研修

「別海バイオガス発電(株)」を視察して

青年部(兼松真武部長)では、今年4月に稼働開始した別海バイオガス発電株式会社への視察を10月23日に行い10人が参加しました。

有田博喜所長に対応していただき、別海町内約11万頭のふん尿処理及び環境保全と雇用促進の地域振興を同時に担う施設として計画が立てられ、建設費概算24億のうち7億円が「地域バイオマス産業化整備

事業」補助金を活用して建てられました。現在は93戸の農家と受け入れ契約を結んでいます。



清潔性のある再生敷料

利用促進を図っていききたい。また、環境保全として契約外の農家も緊急受け入れをしてくれるそうなので、事前に相談してもらえれば受け入れ対応が可能です。

受け入れ棟内で説明を受けた後は、受け入れ場や堆肥の製品ヤード棟、消化液貯留槽を見学させていただき堆肥を受けるホツパのミキサーに長ものの敷料が絡んでしまう問題があり、現在は受け入れできないため、改良していきたいとの事でした。

お忙しい中、対応していただいた有田所長、ありがとうございます。



有田所長から施設の説明を受ける青年部員



ふん尿の成分を分析する作業員

毎日約28ト(4500頭分)の家畜排せつ物と約5トの産廃食品残渣が搬入され、受け入れたふん尿は6割が消化液、4割は再生敷料となります。再生敷料についてはオガ粉と比べて3分の1程度の価格で販売しています。55℃で高温発酵処理をしている清潔性のある再生敷料と、衛生的で雑草種子が不活化された消化液の



バイオガスの仕組みについての講義

「いつもの牛乳よりスッキリ、飲みやすい」と好評

ミルクランド北海道フェア

北海道地区の青年部が本州各地(関東・近畿・東海地区で開催)のショッピングセンターへ出向き、牛乳製品需要拡大を促す「ミルクランド北海道フェア」に10月11日(日)青年部の野矢貴志副部長と藤倉香津靖消費拡大部会長が千葉県イトーヨーカドー我孫子店で参加しました。

お客さんに牛乳の試飲を勧め



青年部も慣れない販売に全力投球、美味しいと好評でした

ると、すぐに足を止めてもらい「いつも飲んでいる牛乳より、すつき

未婚の青年部員が 女性と気軽に、楽しく出会いの場

J A 中春別青年部交流部会主催DJイベント「ナイトフィーバー」が9月26日、同管内中標津町「セーフウェイ」で開催されました。

集まりやすい雰囲気づくりに趣向を凝らしました。

同部会主催の初のイベントで「入場対象者を既婚、未婚や男女を問わずに広く募集し、未婚部員と女性が接する機会をたくさんつくろ

う」と考え企画しました。

DJを勤めるのは広沼力也さん(33)、伊藤孝彦さん(31)、長沼徹さん(30)らでいずれも同農協青年部員でDJ経験者。3人は1人40分の持ち時間で得意なジャンルのJ・POPをはじめ、HIP HOPやEDM(エレクトロニック・ダンス・ミュージック)のCD、レコードを流して来場者を盛り上げました。

当日は80人を超える参加者が会場に集まり、メインイベントDJタイムの他に同JAオリジナル商品の「乳(みる)ホタ餃子(ぎょうざ)」や、地元産牛乳を使ったアトラクションとオリジナルロールケーキ「なかしゅんロール」、農作業用品地元飲食店の食事券などが当たる抽選会を行いました。

主催した同農協青年部交流部会長の山田晃嗣さん(32)は、「当初はどれくらい参加者がいるか不安だったものの、予想をはるかに超える参加者数となりました。地元企業から協賛をいただいたりと、たくさんの方に協力してもらいイベントを開催することができました。今後



30cmの「ジャンボどら焼き早食いゲーム」の参加者の皆さん。口いっぱい頬張っています!



メインイベントのDJタイムに観客もリリリです



「う〜ん、苦い!」制限時間内食べれるかな?

まりやすい雰囲気づくりを追及したイベントを継続していきたい」と来年の開催に向けて意気込んできました。

り飲みやすくして美味しい!普段はあまり飲まないけれどこれなら飲む」とありがたい言葉をかけていただきました。また、子供から「北海道のどこに住んでるんですか?」「牛は何頭くらい飼ってるんですか?」と素朴な質問も受けました。

牛乳の試飲会を 千葉県で行いました

本州で牛乳試飲会を行う機会がありませんので、消費者の率直な意見を直接聞くことができるとも勉強になり、これからの仕事への糧になりました。



多くの人が足を止め北海道の牛乳を試飲
子供からは素朴な質問も

根室管内JA家庭介護教室

介護のコツが身につきました

女性部では10月9日(金)に家庭介護教室に参加してきました。

認知症の高齢者との関わり合いの楽しみ方や、ペアを作りお互いにプリンを食べさせ合せて、体の不自由な人に食べてもらうことが難しいことなどがわかりました。

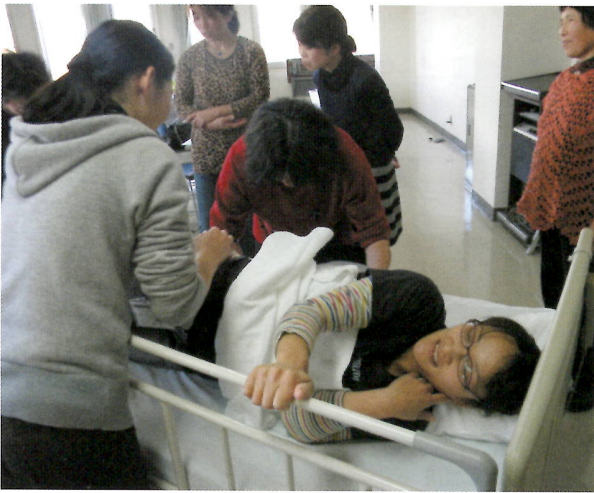


DVDを見て介護の講義中

午後からは家庭介護の実技を教わりました。説明のDVDをしっかりと見ているのですが、いざ実践となるとやり方が混ざってしまいました。

「うまくできません。やり方が合っていないので動かし方ひとつで自分の体にかかる負担が全然違います。重心を下にしながら相手の体を動かすことを意識して下さい」と、アドバイスをもらおうと「楽に動かせるようになった!」と皆さん驚いていたようでした。

「介護をする人によってやり方は全く違います。自分に合った方法で体を壊さないようにしてください。何か介護に関して不安なことや質問したい事があれば遠慮せずにご連絡ください」と心強い挨拶をもらい終了となりました。



家庭介護の実技では「重心を下にして体を動かすことを意識して」と適切なアドバイスを受ける参加者の皆さん

「介護をする人によってやり方は全く違います。自分に合った方法で体を壊さないようにしてください。何か介護に関して不安なことや質問したい事があれば遠慮せずにご連絡ください」と心強い挨拶をもらい終了となりました。

たくさんの笑顔に出会いました そよかぜ訪問ボランティア

ボランティア組織そよかぜでは10月15日にグループフォームすずらんへ訪問ボランティアを行いました。すずらんへ到着すると皆さんが温かく出迎えてくださり、楽しみにしてくれているようでした。

利用者の方たちにも声をかけながらカラオケを13曲・踊りを1曲の計14曲を披露し、最後は知床旅情を皆で歌いカラオケを終了しました。踊りではすずらんの方たちだけではなく、そよかぜのメンバーも見入ってしまい、踊りが終わるとひととき大きな拍手があがりました。

帰る際には「皆さんとても楽しんでいました。1年に1度と言わずに何度でもいらしてください」と見送っていただき、またの再会を約束しました。

ボランティア組織そよかぜでは、これからもたくさんの笑顔に出会えるよう「自分たちのできることから」を



踊りと唄を披露するボランティア組織そよかぜの皆さん

合言葉に活動を行います。ボランティアに興味のある方、一緒に活動してみたい方は営農振興課(☎76-2241)までご連絡ください。

最新の機械に触れ、 見識を広めました

中春別酪農振興会
視察研修会

中春別酪農振興会(高橋真悟会長)では、会員の知識向上と親睦を図る目的から10月19、20日にかけてヤンマーアグリソリューションセンターへの視察に会員7人が参加しました。

2014年11月にフルリニューアルをしました、ヤンマーアグリソリューションセンターでは、提携しているジョンディアのトラクターの生産



工場の施設、概要の説明を受け生産者にとって知識向上に大いに役立ちました



ヤンマーアグリソリューションセンターを視察された7人

がされ、輸入されたトラクターや作業機を国内法規に合致させる改装を行っています。部品庫では常時4万点以上の部品が保管されており、修理などに迅速な対応が出来るようになっていました。本社隣接地では、農業機械業界初となるデモンストレーションフィールドが設置され、約3haの草地を機械試乗やGPS機能試乗もできる作りとなっています。また、農業機械を中心とした研修プログラムはもちろん女性向け安全講習会なども用意されており、生産者にとって知識向上に繋がる施設となっていました。

「サービス業の何たるか」 を念頭に

ヘルパー役職員講習会

中標津町のヘルパー利用組織「フアム・エイより」の管理部長(けんもつよしひと)が講師を務め、9月29日(火)ヘルパー利用組合役員講習会が行なわれました。同社は根室管内でいち早く酪農



挨拶を述べる高田会長

ヘルパー業に着目し、平成元年に開業し、現在では4JA(中標津町、別海町、標津町、羅臼町)の約550戸を40人の専任ヘルパーでカバーしており、その管理



フアム・エイ管理部長によるヘルパーにおける問題点を講義

体制や指導体制には学ぶべき点が多く、「サービス業の何たるか」を常に念頭に置き、職員が変わっても同じサービスを提供できるようにマニュアル化を図っています。

同社とは同業者ならではの共通する問題点も多く、雇用問題、安全対策など様々な質問が飛び交いました。ヘルパー利用組合では、今後このような講習会を定期的に開催し、安全対策の強化や、慢性化する人手不足の解消に向けて人員確保に努めていきます。



真剣に耳を傾ける参加者の皆さん

やっぱり別海の カットステーキが1番おいしかったよ

さつぽろオータムフェスト2015

北海道の秋の風物詩となった「さつぽろオータムフェスト2015」が9月11～10月4の24日間、札幌大通

公園4丁目会場から8丁目会場それぞれ「生産者・料理人・消費者」の顔が見える「北海道の食」をメインテーマとして開催されました。

期間中の来場者数は過去最高となる220万3000人の来場者となり、道内外より多数観光客が来場いただきました。

今年も8丁目会場に9月21～9月23日の3日間でAコープ店舗より、牛ロースカットステーキ、チーズハンバーグ、乳(ミル)ほた餃子の3品、また、青年部にて別海牛乳・別海コーヒ―牛乳の無料

配布を行いました。

出展期間中の大通り公園はまだまだ気温が高く、道東の夏場のようなすこしやさしい気温の中、訪れたちびつ子からお年寄りまで幅広い年齢

青空の下、焼き手が追いつかない別海ブースは長蛇の列

けられました。

23日には青年部から、荒貴志理事が駆けつけ、お客さんの呼び込みや別海牛乳の無料配布など額に汗をかきながら「僕たちが毎日搾ったおいしい牛乳いかがですか？」とお客さんと直接ふれあい「別海の牛乳美味しいね」「美味しい牛乳ありがとね」とお客さんから多くの嬉しいコメントに、「地元では経験できない貴重な体験ができ、また、明日から仕事を頑張りたい」とオータムフェストでの1日について話してくれました。

今回の出展では、牛ロースカットステーキ315kg、チーズハンバーグ150個、ミルホタ餃子1300個と大盛況のうちに幕を閉じることができました。

層の来場者は、青空の下で北海道各地から出展された味覚を楽しみました。別海町ブースでは、香ばしい香りにつられた来場者を前に、ペテランの焼き手と元氣いっぱいの子の成果もあり、焼き手が追いつかないほどの長蛇の列が出来るなど連日大盛況でした。



お客さんの嬉しい言葉に疲れも飛びます

今年も8丁目会場に9月21～9月23日の3日間でAコープ店舗より、牛ロースカットステーキ、チーズハンバーグ、乳(ミル)ほた餃子の3品、また、青年部にて別海牛乳・別海コーヒ―牛乳の無料

焼肉の香ばしい匂いに誘われ次々と買い求めるお客さんで焼き手も嬉しい悲鳴に汗を流しました



丹精込めた自慢の 「天きなかぼちゃ」は何kgかな？

爽やかな秋晴れの下「かぼちゃの品評会」美原振興会主催が、美原ゆうゆうホール前にて10月15日(木)に開催され、約30人が心地よい風に吹かれながら品評会を楽しみました。

正午前に次々と軽トラックに積んで会場へと持ち込まれた自慢のかぼちゃ。ちょうどお昼時ということもあり、品評会が始まる前に隣接するD型ハウスの中で焼肉に舌鼓を打ちながら「今年のかぼちゃはどうだった？」

「今年は昨年比去年に比べて天気があまり良くなかったから、出来が今いちだったなあ」なかぼちゃの出来具合いや日頃の近況を談笑しながら地域の交

流を深め合いました。お腹がいっぱいになったところで、いよいよ計量が始まりました。大人1人では持ちきれないかぼちゃを大きな布の上に乗せ2人で運び、トラクターに取り付けた計量器へ。「おつ、結構でかいんでないか、なんぼある？」など歓声をあげながら参加された人たちが計量器へと集まり、興味津々。持ち込まれた8個のかぼちゃを全て計量後、お待ちかねの結果発表。接戦の末、山崎牧場さんが72kgで優勝し、会場は大盛り上がりとなりました。



手塩にかけた自慢のかぼちゃの計量「俺のが一番かな？」



2人で運ぶのも大変な作業です



昨年より小ぶりだった「かぼちゃ」

今回は、昨年と比べてひと回りほど小さな出来でしたが、地域の皆さんが実りの秋「かぼちゃの品評会」と、食欲の秋「焼肉」を笑顔で満喫されたのではないでしょうか。
来年は天気に恵まれ丹精



焼肉を囲んで食欲の秋を地域の人たちと満喫

込めた「でっかいかぼちゃ」ができるのを楽しみに期待しています。参加された皆さんお疲れさまでした。
なお、かぼちゃの品評会の結果は以下の通りです。

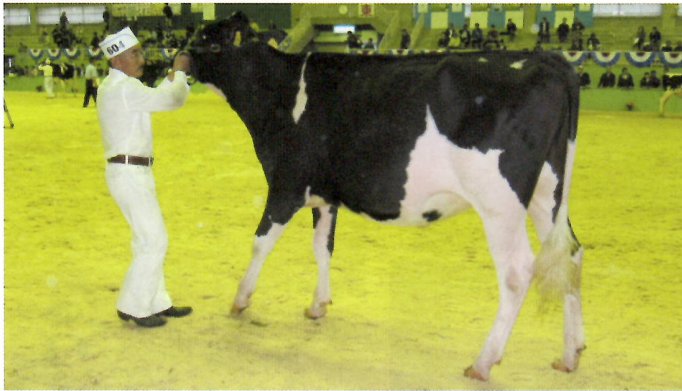
- 第1位 山崎牧場 72 kg
- 第2位 関口牧場 66 kg
- 第3位 西川牧場 61 kg
- 第4位 川畑牧場 54 kg
- 第5位 浮川牧場 45 kg

更なる乳牛改良へ 日本一への熱い戦い

「乳牛のオリンピック」と呼ばれる全日本ホルスタイン共進会。昭和26年に第1回大会が開催され日本の乳牛改良の地元北海道で開催されました。10年ぶりとなる第14回大会は私達から全国各地で始まった予選では、全国への切符を掛け熱い戦いが繰り広げられてきました。

9月19日(土)、20日(日)にかけて安平町早来の北海道ホルスタイン共進会場において、北海道代表を決めるべく2015北海道ホルスタインナショナルショウが開催され、全道各地の予選を勝ち抜いた392頭(根室管内58頭)が集結しました。中春別ホルスタインからは根室管内で最多出品頭数となる9戸13頭(未経産6頭、経産牛7頭)が出品されました。オフィシャル・ジャッジはカナダでルックアウト牧場を経営しているカラム・マッキンベン氏、アソシエイト・ジャッジには北海道ホルスタイン農業協同組合審査部企画課長・稲山智明氏が

務めました。全国への切符は各都上位4頭が手にするこゝとができ、非常にレベルの高い戦いが繰り広げられました。見事グラントチャンピオンに輝いたのは2006・2007年にグラントチャンピオンを獲得された豊富町佐藤道寛さん出品の「レスポアールレーガンスタールハーゲン」号でした。中春別ホルスタインは惜しくも1等賞を獲得することはできなかつた



ものの9頭が入賞しました。また、全道に初出品する出品者もあり、次に繋がるシヨウになったと思います。中春別ホルスタインから全日本ホルスタイン共進会へ進むことはできませんでしたが、根室管内からは3頭が進むことになりました。

北海道で初開催となる全日本ホルスタイン共進会北海道大会が、10月23日(金)26日(月)の4日間の日程で、安平町早来の北海道ホルスタイン共進会場にて開催されました。審査員に千葉義博氏(二社)日本ホルスタイン登録協会、副審査員に池田泰男氏(二社)日本ホルスタイン登録協会が務められました。全国の予選を勝ち進んできた素晴らしい牛達が一堂に会し、正に日本一を決める戦いがショウリングで繰り広げられました。各都上位を占めたのはほとん

どが北海道勢であり、レベルの高さを全国に示しました。会場全体が注目する中、夏から行われてきた予選を経て、日本のホルスタインの頂点となる最高位賞には更別村の天野洋一さん出品の「レデイスマナー MB セレブリテイ」号が輝きました。今シーズンのショウの集大成とも言える今回の共進会。日進月歩で進む乳牛改良ですが来年以降また素晴らしい牛達に出会えるよう楽しみにしたいと思います。



2015北海道ホルスタインナショナルショウ JA分結果

部	成績	名	号	生年月日	父牛名号	出品者
1	3等賞	フロートリバー	フラワー アイオーン ジェニー	H26.10.29	ミッドフィールド CCM アイオーン	浮川 優
1	2等10席	グローリーランド	ウイングス アツトウツド	H26.10.27	メーブルタウンズアイ G W アツトウツド ET	寺澤 佳吾
2	2等6席	プレザント	マリールンド オータム ガール	H26.9.5	ミッドフィールド CCM アイオーン	中西 裕哉
2	2等9席	YMD	ユリアナ アイオーン ルイジー	H26.8.6	ミッドフィールド CCM アイオーン	山田 博和
4	3等賞	ユキナシ	アイオーン マツト	H26.5.10	ミッドフィールド CCM アイオーン	佐々木靖裕
6	2等3席	YMD	ジャツキー スタンリーカット アンジェラ	H26.1.14	ジレット スタンリーカット ET	山田 博和
8	2等8席	プレステージ	ラスト チョイス ET	H25.4.14	ゴールデンオークス ST アレキサンダー ET	久保 光大
10	2等9席	フラインビュー	スプレー アイオーン チツク	H24.3.30	ミッドフィールド CCM アイオーン	島山 吉男
11	2等12席	ライブリー	コレット ショット	H24.7.26	リンカーンヒル ショット レイザー ET	山田 光男
11	2等9席	アビリティファーム	DDJ ウイランド	H24.7.13	ジレット ウインドブルック ET	橋本 幸二
14	2等5席	プレステージ	ラスト チャンス ET	H22.4.7	マコンパー オーマン ボガート	久保 光大
15	3等賞	FR	マツヨ リヴェレスト	H20.10.9	コムスター リヴェレスト ET	浮川 優
15	3等賞	ライブリー	コレット サム	H20.7.5	レーガンクレストミスター ダーハム サム ET	山田 光男

2015北海道ホルスタインナショナルショウ結果

	出品番号	名	号	生年月日	父牛名号	出品者
グランド・チャンピオン	1518	レスポアール	レーガンスター ハーゲン	H13.6.25	レーガンクレスト エルトン ダーハム ET	豊富町 佐藤 道寛
リザーブ・ グランド・チャンピオン	919	TMF	ナイデル アツト アンナ エコー	H24.12.31	メーブルタウンズアイ G W アツトウツド ET	清水町 （旬）田中牧場
シニア・チャンピオン	1518	レスポアール	レーガンスター ハーゲン	H13.6.25	レーガンクレスト エルトン ダーハム ET	豊富町 佐藤 道寛
リザーブ・ シニア・チャンピオン	1304	TMF	セプテニー チーズ アツトウツド フォーゼ ET	H23.8.27	メーブルタウンズアイ G W アツトウツド ET	清水町 （旬）田中牧場
インターミディエイト・ チャンピオン	919	TMF	ナイデル アツト アンナ エコー	H24.12.31	メーブルタウンズアイ G W アツトウツド ET	清水町 （旬）田中牧場
リザーブ・インターミディエイト チャンピオン	1130	グラウンダー	アストロ ルディー ロイ	H24.4.14	UFM-ダブス ゴールドロイ ET	北広島市 岩田 政彦
ジュニア・チャンピオン	620	エンブレムK	ブローカウ ジャステイナ	H25.12.1	ミスター アツトウツド プロカウ ET	大樹町 穀内 隆志
リザーブ・ ジュニア・チャンピオン	427	DH	チャンス メイク ET	H26.4.10	ジェンマーク ストーマティック サンチエス	北見市 山内 誠

第14回全日本ホルスタイン共進会北海道大会最高位賞

部	名	号	生年月日	父牛名号	出品者
14	レデイスマナー	MB セレブリテイ	H21.3.2	デュドツク ミスター バーンズ ET	更別村 天野 洋一

第14回全日本ホルスタイン共進会北海道大会 根室管内出品牛

	成績	名	号	生年月日	父牛名号	出品者
3	優等賞2席	エクセルシア	プロカウ アンナ	H26.5.4	ミスター アツトウツド プロカウ ET	中標津町久保 剛
8	優等賞3席	フェイアーク	ウインド テラソン	H25.1.16	ジレット ウインドブルック ET	別海町 佐藤正一
13	優等賞4席	センターランド	マツトロイ チャンプ サンチエス	H22.3.28	ジェンマーク ストーマティック サンチエス	根室市 中川 勉

全国ホルスタイン共進会
北海道初開催



全国ホルスタイン共進会、
日本一をかけて熱き戦いの会場

肌寒さを感じる晩秋の中、 元気なナイスショット！の声が連発



日頃の成果を発揮しナイスショットを連発する皆さん

年金友の会(高橋昌晴会長)では、10月19日(月)秋季スポーツ交流会を会員34人参加のもと行いました。パークゴルフは美原を会場に、西原浩町議も参加され交流会はスタートしまし

た。寒さを感じながらでしたが、そこは熟年パワー。ホールインワンも飛び出すなど、18ホールを回りました(なかには18

ホールで物足りない人も…)。男子の部は優勝が同スコアとなり、急遽プレーオフが行われ、会員皆さんが注目するなか白熱した優勝決定戦のプレーにより



西原町議も参加、奇せの上手さでバーディー?



会館の中でゲートを楽しむ

決まりました(早朝より落ち葉広いのコース管理をしていただきありがとうございます)。(ゲートボールは、中春別ふれあいセンターの中で開催され、年々参加者は減少していますが、飛び



皆さん揃って記念の1枚、良い笑顔で写っていますね

込みで事務局も参加し2チームで交流を深めました。寒さが一層厳しくなってきましたが、会員皆さん体調管理に充分気をつけていただき、来年も皆さんの健康と多くの参加をお待ちしています。パークゴルフの成績は次の通りです。

「男子の部」

優勝 寺澤 昭一

準優勝 中村与之進

「女子の部」

優勝 兼松みち子

準優勝 渡辺 泰子

11月30日(月)は個人事業税・第2期の納期限です

納税通知書が届いた方は、忘れずに納期限までに納めましょう。なお、納税には便利な口座振替がおすすめです。詳しくは、根室振興局税務課までお問い合わせください

●お問い合わせ先

根室振興局税務課

〒087-8588 根室市常盤町3丁目28番地

課税に関すること(課税係)0153-24-5479 納税に関すること(納税係)0153-24-5466

こんな大っきいの釣ったよ〜と大喜び

春別寿会
子供との交流会



子供たちからお年寄りまでパン釣り競争に夢中!

子供たちから親、お年寄り一緒に
パン釣り競争で笑顔いっぱい!



今回は残念ながら地域他の行事と重なってしまい、子供たちが少なかったようですが、参加する子供たちが集まると自然と賑やかになり、ゲームの内容を教えたりして会場から笑顔が溢れていました。「パン釣り競争」が始まると子供たちはパンの入った買物袋め

ちが会場へやってくるのを待ちわびていました。

恒例の「春別寿会子供との交流会」が10月24日(土)に菊水会館で行われました。待ちに待った春別寿会のみなさんは、この日を楽しみにしていたようで朝早くから菊水会館に集まり、会場の準備を早めに終えた後、お茶を飲みながら「今日は孫さん来るのかい?」と語りあいながら「もうそろそろ来る頃かな?」と子供たち

今回は中標津や標津を中心に活動する「ムーンアロハの会」の方々をお呼びし、フラダンスや民謡を披露していただきました。「フラダンスの振り付けは手話のように月や波の意味があります」と説明してもらい、みなさん曲に合わせて歌いながら手拍子をしたりしていました。その後はビンゴ大会があり思い思いに楽しみ、記念撮影をして交流会の幕を下ろしました。

大人達も子供の頃を思い出しながら一緒に「パン釣り競争」を楽しみました。

かけて釣りざおを垂らし、真剣に釣ろうとするも針がまわったりして苦戦していました。やつとコツを掴み、「やったー!!」と釣り上げた順番にいろいろな景品ももらいました。釣り上げたのがよほど楽しかったのか、終わった後もまだ遊び足りないようで、何度もパンを戻しては、釣り上げる姿もありました。



参加された皆さんと、今回、初めてフラダンスや民謡を披露された「ムーンアロハの会」の皆さん



うっとりするようフラダンスを披露していただきました

麦稈を沢山使ってキレイに



カウトレーナーも上手にを使って清潔を保っています。

麦稈を沢山使ってキレイに



ベン中央に山盛りに入れて、寝起きが快適で、冷えません。

麦稈を沢山使ってキレイに



下にすのこを入れて透水性を上げて、冷え知らず。

麦稈を沢山使ってキレイに



少なくとも乳房の下にはタツプリと(牛床マット使用)

～敷料の役割について考えてみましょう～

敷料は足りていますか？

根室管内では一般的に、①乾牧草②ワラ類(麦稈)③おが粉④もみ殻が使われていますが、敷料が不足している農場が散見されます。特に、育成牛や乾乳牛に不足の傾向があるようです。

敷料の役割

牛床に求められる条件は、①クッション性が高く、②滑らず、③乾いていて衛生的で、④牛体を傷つけないことです。

そして、この条件の不足を補ってくれるのが敷料です。

敷料の具体的な役割を下の表に示しました。

敷料の役割

乳房炎防除・蹄病予防

◇糞尿を牛床から除きやすくし、牛体、乳頭、乳房を汚さない

◇ふん尿の湿気を吸い取り、牛床を乾燥させる

エネルギー損失防止

◇断熱効果で冷えから守る

けがをさせない・採食量を減らさない

◇滑ることによる乳頭損傷・肢蹄の打撲傷を防ぐ

◇固い牛床で寝起きすることによる、関節等への加重を軽減する

◇摩擦の強すぎる牛床によるすり傷を防ぐ

余剰の乾牧草を敷料にしてみても？

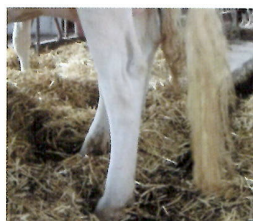
麦稈は敷料に適した素材ですが、価格や流通面で入手しづらいことがあります。もし牧草の量に余裕があるなら、植生が悪化した草地の牧草を、敷料用として活用してはどうでしょうか。

育成牛・乾乳牛にも十分な敷料を！

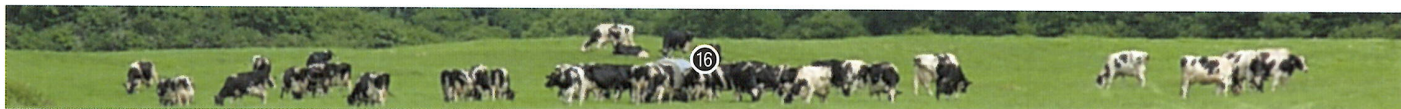
敷料が不足しがちな育成牛や乾乳牛に、寝起きがしやすく温かい牛床を提供することで、特に寒冷環境において、健康増進や生産性向上が期待できます。

麦稈・乾牧草が使えない場合はおが粉を

設備上、牧草類やワラ類が使えない場合は、おが粉やもみ殻がいいでしょう。いずれの敷料を選択しても、クッション性確保のため、タツプリ投入することが重要です。牛床素材をマットにすると、さらに効果を高めます。



写真の牛床には麦稈がたくさん投入されています。牛床素材はコンクリートですが、敷料をたくさん使うことでクッション性が高まり、寝起きが楽になります。飛節は傷ついていません。



この日のために たくさん練習しました!

秋晴れの10月18日(日)中春別小学校学芸会が開催されました。

朝早くからたくさんの家族が、敷物とカメラを抱えて体育館に集まりました。「この日のために練習したお芝居を見てください」と緊張しながらも挨拶があり幕が上がりました。

学年ごとに表現したい事がはっきり違って、低学年は可愛らしい場面がたくさん盛り込まれていたり、高学年は大人も考えさせられるような内容でした。

物怖じせずに堂々と大きな身振り手振りではっきりとセリフが言えた子、緊張したのかセリフが出てこなくなってしまう、隣りの子にそっと教えてもらう場面もありました。

見ている観客も可愛らしいお芝居に笑みがこぼれたり、6年生の全員で「私たちは最後の学芸会ですが、お父さん、お母さん、家族や地域のたくさんの人たちに支えてもらいました。いままでありがとうございました」と最上級生として立派な挨拶に、我が子の成長を感じたのか思わずうるうるしている姿もありました。

閉会の挨拶が終わるとホッとしたのか、お父さん、お母さんたちに駆け寄って「緊張した～」、「ちゃんと見てた?」と満足した表情を浮かべていました。





第31回 未経産クラス

ホルスタイン写真 コンテスト

中春別乳牛改良同志会(竹田潤会長)では、毎回好評
であります「ホルスタイン写真コンテスト(未経産クラス)」

を行いますので、投票要項に注意してお早めに応募し
て下さい。

予想投票応募要項

1. 同封しています予想投票用紙に6頭の序列付を行
い、その牛の該当記号(A~F)を記入して下さい。
2. 全問正解者、また、正解率の高い方に賞品を贈呈致
します。なお、正解者多数の場合は抽選により決定
致します。
3. 住所、氏名、記号は、はっきりわかりやすく記入し、投
票用紙を畜産課(畜産指導係FAX76-3006)または、授精師にお渡し下さい。
4. 応募〆切は、12月10日となっておりますので期日
厳守にて応募して下さい。
5. 序列・講評と全問正解者(当選者)は2016年1月号
で発表致します。

A



B



C



D



E



F

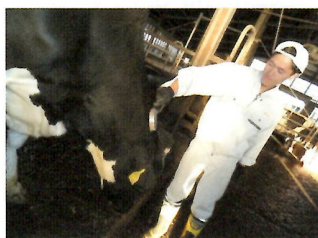


●搾乳実習【経営科】実施

10月7日(水)より別海町酪農研修牧場で、今年度の搾乳実習を行いました。今年度は秋のみの実施となりましたが、これまで同様酪農経営コースの生徒は牛群の管理と衛生的な搾乳手順の定着を目指しスタッフの方からご指導いただきました。また酪農産業コースの生徒は、搾乳作業が初めてという生徒も多く、体験的な意味合いも含め、地元の基幹産業への理解を深めました。



パーラーでの搾乳



牛群の管理作業

酪農経営科設立当初、本学科の卒業生の全員が酪農ヘルパーとして働くことができる技術を身につけるねらいのもと、研修牧場様のご協力により実習がはじまりました。おかげをもって卒業生の中にも本実習を経験し、自家や法人の牧場に勤務するなど中核となって現在活躍しています。今後もご指導をいただきながら、より高い技術の定着を目指していきます。

●育成センター実習【経営科】実施

9月15日(水)より17日までの3日間JA道東あさひさんの哺育育成センターで実習をさせていただきました。酪農経営科の立ち上げ時より継続してお世話になっています。今年度も1年生14人が本センターでの実習を経験しました。実習の当日は牧場の責任者である菊地さんより牧場での子牛の受入から預託農家さんへ戻すまでの一連の工程を学習させていただいた後、実際に哺育牛から育成牛までの管理作業を体験させていただきました。



牛群の管理作業

給餌からエサ寄せ、給水槽の清掃など細かな対応が牛を丈夫で健康に育てるために重要であることを学びました。多くの生徒が学校では体験することのできない貴重な実習の機会として有意義に実習に取り組みました。

●食彩フェアに参加【経営科】

10月10日(土)、さんフェア2015農業高校食彩フェアが、全道各地で開催されました。本校もイトーヨーカドー釧路店での販売活



販売活動の様様

動に、標茶高校、中標津農業高校とともに参加いたしました。本校からはナガネギ、タマネギ、ジャガイモなど農産物を販売しましたが、好評のうちに完売となりました。イトーヨーカドーでの即売は販売物の品質管理や放送方法など大変参考になることが多く、参加した生徒も大変有意義な経験ができました。こうした販売活動で得たノウハウを今後の活動に生かしていきたいと思ひます。

●【専攻科】酪農技術現地研修会実施

10月7日(水)から9日(金)までの3日間、別海高等学校自営者連絡協議会との合同で、酪農技術現地研修会を実施しました。

今回の研修では、1日目に帯広市の十勝加藤牧場を視察しました。ジャージーとホルスタインを飼養されており、搾乳ロボット、自動換気システムと合わせて6次産業化への取り組みについてご説明いただきました。次に清水町の出田牧場にて放牧酪農について研修しました。季節繁殖の無理をしない放牧管理法について学びました。2日目は鹿追町のケーアイ牧場にて搾乳ロボット4台、飼養頭数620頭の大規模経営を視察しました。午後から千歳のGEAオリオントレーニングセンターにて最新酪農機器等についての視察をおこないました。また、江別のヤンマーアグリソリューションセンターにて製品紹介や農作業機器の国内組み立てラインの説明を受けました。3日目は八紘学園北海道農業専門学校にて、管理のいきとどいた牛舎と八紘学園学生の実習の様子、また、敷地内の直売所などを視察しました。

学生の皆さんからは、「多くの酪農場の経営スタイルを我が家と比較でき、とても参考になった。」「経営は違うが、共通している部分は各農家さんが持っている。こだわりだと感じた。」といった声が聞かれました。台風接近の悪天候の中でしたが、自分の住んでいる地域を離れて、それぞれの専門性を高める研修会となりました。



清水町出田牧場



八紘学園

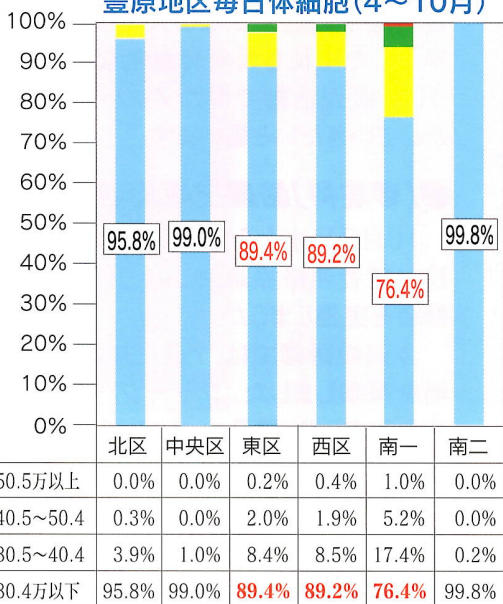


生乳汚染事故を無くそう！

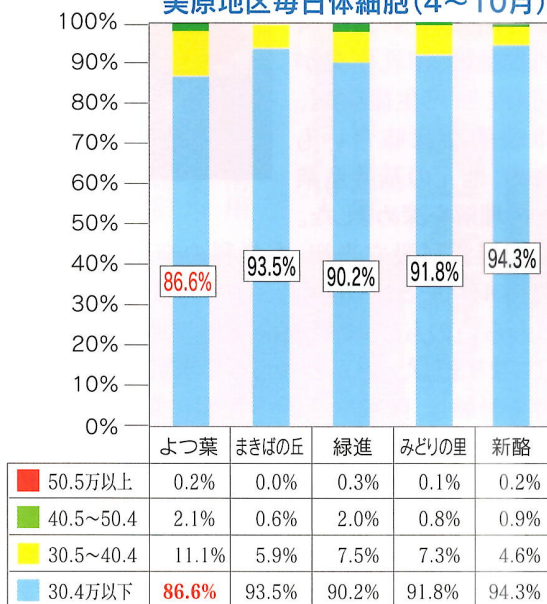
- 抗生物質混入事故…………… JA中春別発生件数 **1**件 管内合計では**6**件です。
- 生菌による汚染事故…………… JA中春別発生件数 0件 管内合計では0件です。
- 異物混入、加水、**血乳**による汚染事故…………… JA中春別発生件数 0件 管内合計では**2**件です。
- 異臭、異常風味による汚染事故…………… JA中春別発生件数 0件 管内合計では0件です。

日没も早まり明るい牛舎は作業意欲の向上と採食行動にも良い影響を与えます。
牛舎内の照明器具の点検と清掃を行いましょう。

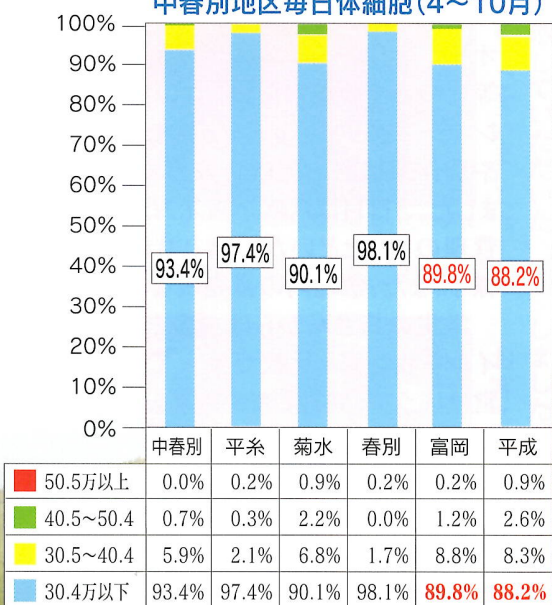
豊原地区毎日々体細胞(4~10月)



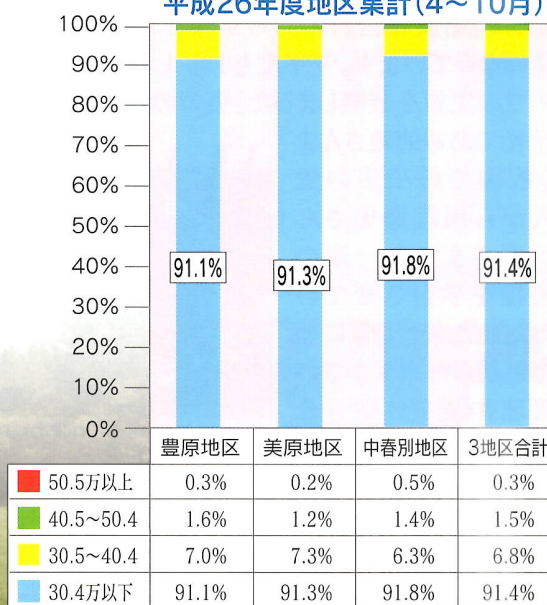
美原地区毎日々体細胞(4~10月)



中春別地区毎日々体細胞(4~10月)



平成26年度地区集計(4~10月)



おじゃまします、保健センターです。

がん検診のあれこれ



「がん検診」には大きく2種類があります。「**対策型**＝市町で実施している検診」
「**任意型**＝医療機関でドックとして受ける検診」です。

	対策型(市町で実施するもの)	任意型(主に医療機関で受けるもの)
目的	集団全体でがんの死亡率を下げる目的公共政策として行う検診	個人のがん死亡リスクを下げる目的
検診対象者	一定の年齢範囲の住民	定義されない。どの年代でも受診可能
検診費用	公的補助を使用	全額自己負担
検診の種類と方法	胃・肺・大腸・子宮・乳の5種類のがん検診を有効性が確立された検査方法で実施	がんの種類(部位)も検査方法も定義されない。例:PET検診、MR検査、腫瘍マーカー検査など検診実施者と個人の判断で自由に決定できる
*利益と不利益	限られた資源(時間・労働・費用など)の中で、利益と不利益のバランスを考慮し、 集団にとっての利益を最大化	個人のレベルで 、利益と不利益のバランスを判断

*利益と不利益って?・・・例:検診精度を高くする方法を選択すると、がんの発見の範囲や確率が高くなりますが(利益)、被爆量が多い、検査の事故による障害をこうむる、一人にかかる時間が多い、費用が高額など(不利益)が生じることがあります。

がん検診の精度は100%ではありません。

がんが発見される可能性はその種類や検査の精度によって異なります。さらにはがんの形状や発生部位(見にくい場所)の違いによってある程度の見逃し(疑陰性)や、がんの疑いがあるとして精密検査を行ってもがんが見つからない(疑陽性)ということもあります。

まとめ

がんは2人に1人がかかる病気です。がん検診の種類や検査方法を理解したうえで、組み合わせながらがんの早期発見をしていただくと良いとおもいます。

9月 乳質乳価一覧表

(単位:円/kg)

9月分乳代支払単価

				単価	算出基礎	支払乳価	前期	差	項目	単価(円)/(kg) %	
乳脂肪分				912.362		35.28	33.77	1.51	乳脂肪分①	35円28銭	
無脂乳固形分				577.149		50.43	48.24	2.19	無脂乳固形分②	50円43銭	
補給金				4.0432		4.04	3.36	0.68	補給金③	4円4銭	
計画チーズ奨励金				1.7078		1.71	1.85	-0.14	チーズ奨励金④	1円71銭	
乳質単価	生菌数	ランク1	2	302,069,708.5kg	3.70	3.66	0.04	0.04	脂肪率	全道	3.87%
		ランク2	0	5,828,756.6kg					農協	3.90%	
		ランク3	-3	137,201.8kg					無脂固形分率	全道	8.74%
	体細胞数	ランク1	2	259,552,484.0kg					農協	8.70%	
		ランク2	1	25,420,463.0kg					成分乳価	全道	91円46銭
		ランク3	-2	4,653,240.5kg					①+②+③+④=⑤	農協	89円84銭
合計					95.16	90.88	4.28	乳質乳価⑥	全道	3円70銭	
									農協	3円70銭	
									乳代合計	全道	95円16銭
									農協	93円54銭	
									⑤+⑥	差異	-1円62銭

牛乳消費拡大キャンペーン

美原地区 久末敏幸さん

「温泉で疲れを取りま賞」を見事獲得!

毎年1年に1回牛乳の消費を目的とした道内で開催されるAコープチェーン北海道主催の牛乳消費拡大キャンペーンが、9月1日～10月12日に実施されました。

Aコープの商品2000円分、または乳製品を購入すると誰でも応募することができるということで、Aコープ中春別店では約170通の応募があり、その中から美原地区・久末敏幸さんが、あかん遊久の里鶴雅ペア温泉宿泊券「温泉で疲れを取りま賞」



山田購買部長より温泉宿泊券を手渡さる久末敏幸さん

が当たり、「奥さんと2人で行きます!」と笑顔で喜んでいました。

その他にも特別賞(全農商品券5000円分)、店長賞(Aコープマーク品詰め合わせ)、モ～よか

ったで賞(牛乳券)がそれぞれ当たりました。当選された方々おめでとうございます。

冬へ備えて我が家へと帰りました

中春別共和牧場下牧

澄みわたる秋空の下、春から共和育成牧場に放牧され、のびのびと育った育成牛たち46頭、組合員さんの元へ返す「下牧」作業が10月17日に行われました。

職員に誘導されスムーズに家畜車へ乗せられていましたが、中には広い放牧地の居心地が良かったのか「帰りたくない」とだだをこねる牛も見受けられました。牛を預けていた組合員さんは「ひと回り大きくなり足腰が強く、元気そうで何より」と満足な笑みを浮かべ、それぞれ我が家へと帰っていきました。



1日皆貯金65,525千円達成!!

10月13～14日にかけて行われました1日皆貯金の集計結果について、以下の通りとなりました。

目標額50,000千円 実績65,525千円(前年比120.6%増 209件)目標金額を上回ることができました。お忙しい中皆様のご協力ありがとうございました。

農業者年金を受給している皆さまへ

平成27年分の「公的年金等の源泉徴収票」の送付

農業者年金の平成27年分の「公的年金等の源泉徴収票」は、「独立行政法人農業者年金基金」より受給者全員に1月31日までに送付されます。(ハガキ形式で送付されます)

「公的年金等の源泉徴収票」は紛失しないように大切に保管してください。

もし紛失した場合は、「独立行政法人農業者年金基金」へ再交付の依頼をしてください。

問合せ・依頼先

独立行政法人農業者年金基金給付課
☎03-3502-3945



農業者年金へ加入している(被保険者)皆さまへ

農業者年金保険料を確定申告の際のお知らせです。

◎農業者年金の保険料は、全額が社会保険料控除の対象です。

◎納付した保険料額は、JAで振替口座の記帳をして、確認をお願いします。

*農業者年金保険料は、JA口座から自動振替により納付をお願いしております。

◎農業者年金の保険料は、確定申告の際、社会保険料控除証明書等の添付は不要です。

*証明書等の添付が不要であること及び記帳により納付保険料額が確認できることから、農業者年金基金は被保険者に証明書等は発行しておりません。ご理解をよろしく願います。

◎「前納納付」した保険料は、27年または28年のどちらかの年を選んで確定申告することができます。

*平成28年分(28年1月分から12月分)保険料を平成27年12月24日に「前納納付」した方が対象です。

第8回 理事会の動き

平成27年10月29日(木)

議案

1. 平成27年度下期余裕金運用計画額及び運用方針について
2. 平成27年度半期ディスクロージャー誌による開示について
3. マイナンバー制度開始に伴う個人情報関連規程類の改正及び制定について
4. 平成27年度営農年度財産造成に伴う資金の貸付について
5. 別海町家畜ふん尿貯留施設整備事業及び消化液貯留施設整備事業(案)について
6. 固定資産の取得について

報告事項

1. 平成27年度9月末定期監査報告について
2. 組合員加入について
3. 組合員の脱退について
4. 固定資産の実査について
5. 平成27年度9月末財務状況について
6. 平成27年度9月末購買事業実績について
7. 平成27年度9月末購買品棚卸結果について
8. 平成27年度9月末基準決算見通しについて
9. (一社)北海道農協経営審査協会による内部審査報告書について
10. 平成27年度JA共済コンプライアンス点検結果について
11. 平成27年度上期経営点検結果について
12. 平成27年度一日皆貯金の実績について
13. 平成27年度JAバンク北海道年末特別推進運動「みんなでおいしい北海道ドーン貯 冬のキャンペーン」の実施について
14. 固定資産の取得について
15. 平成27年度9月末営農生産関連実績について
16. 第32回「菊と緑の会inべつかい」の実施結果について
17. 台風23号に伴う被害について
18. 特定疾病感染補償互助会の支払いについて
19. グローバルジェネティクス(株)主催のイタリア、オランダ酪農視察への参加について
20. 共和育成牧場預託牛事故に係る互助会規程による見舞金の支払いについて

協議事項

1. 地区別組合員懇談会の意見集約について
2. 次期生乳安定生産対策の検定について

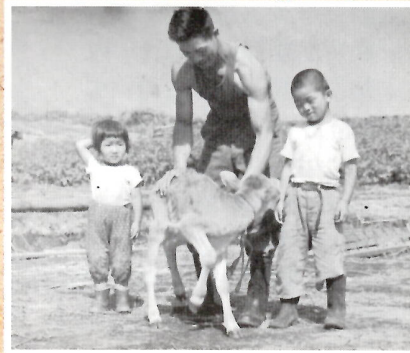


懐かしきあの頃…… そして今。



昭和30年代初めパイロットファーム入植者に与えられ、現在の基礎を築く

今月は、ジャージー牛に注目したいと思います。目がクリッと大きく、体は現在主流のホルスタイン牛よりも小さく愛くるしい見た目で、ホルスタイン牛と比べると乳量は3分の2程度ですが、乳脂肪5%を超え、脂肪球が大きくバターを作るのに適しています。高タンパク、カルシウムやビタミンが豊富に含まれており、美味しく栄養価の高い牛乳でβカロテンを豊富に含むため、黄色味がかかる特徴があり、その淡い金色から「ゴールデン・ミルク」と呼ばれていたそうです。現在では飼育している農家は少なくなくなったものの、一部では飼われていて道内にも約800頭がいます。最近ではその高い乳成分の影響が見直されている



事もあり、ジャージー牛のみの牛乳、ヨーグルト、ソフトクリームなどの乳製品も見かけます。このジャージー牛は、昭和30年代初めに「ジャージー指定区」であるパイロットファーム入植者に与えられ、現在の基礎を築きました。しかしその後、伝染性のあるブルセラ病(疑似牛の当該牧場は生乳出荷停止と真症の場合は処分となる)が広がり昭和42年までにジャージー牛とホルスタイン牛を合わせて125頭が発病し根絶地区以外の周辺町村にも導入されたため大きな被害が出ました。

「当時は、国からジャージー指定区とされホルスタイン牛の導入が認められていなかった。運ぶのも横浜から牛を乗せた貨物車1台に1人の獣医師が乗り、健康管理を担当し作業着を脱ぐことなく飲み水を運んだりした。食事と寝起きを牛とともにすごしていた。春別駅に到着したのは出発から四日目だったと記憶している。着いた頃には痩せていて、牛の配分もくじ引きだった」と、当時のことを教えてください。

編集後記

▼11月に入り、今年も残り2か月となりました。木々の紅葉も枯れ落ちて朝はなかなか布団から出たくないという方もいらっしゃると思います。本格的な冬シーズン到来の前には、お漬物をつけたり、花壇の整備や冬物の洋服を出したり、タイヤの交換と何かと忙しく追われているのではないのでしょうか？

特に冬タイヤ交換は「もったいない」と感じて、積雪前には確実に済ませましょう。

▼10月8日に発生した台風23号で停電や建物の損壊が相次ぎ、中春別地区も組合員へ調査した結果、大小合わせて94戸123物件(主に建物)の被害報告がありました。自然災害を完全に防ぐ方法はありませんが、避難場所を話し合う事。気象状況の確認や、万が一に備えて防災グッズを準備したりする事以外にも、保険で身を守るという方法があります。保険に加入していると思っても、実は加入していないかった、期間が切れていた。というケースも少なくありません。今一度、保険のプロに相談し建物以外の保証も見直してはいかがでしょうか。